

本指導案は、国立教育政策研究所教育課程センターから評価等に関する資料が公表される前の、編集段階の教師用指導書を元に作成しております。
 そのため、本時の目標やめあてについては、供給版の指導書と異なる部分があります。また、評価規準についても編集段階の指導書と同じ記述にしているため、5領域には分けておらず、評価観点のみで、毎時間記入してあります。ご了承ください。

Unit 3 What do you want to study? (pp.26-33)

本単元におけるゴールとなる言語活動

「『わたしはだれでしょう』クイズを通して、クラスの仲間と、互いに理解を深めよう！」

指導計画 1 / 8 時間 (pp.26-27)

本時目標：(仮) 学びたい教科やなりたい職業についてのやり取りのおおよその内容を理解することができるようにする。

主な表現：What do you want to study? I want to study home economics.

準備：単元計画表，指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)，教師用絵カード，ワークシート (WS)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物	
導入 5分	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。		
	【Small Talk】 ・pp.26-27 を見て、どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して、英語を聞いたり話したりする。	・pp.26-27 を見て、どのような場面が示されているか、慣れ親しんできた語彙や表現を用いて確認する。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。		
展開 32分	【めあての確認】 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> (仮) 学びたい教科やなりたい職業についてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。 </div>			
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。		
	【Let's sing】 What do you have on Mondays? ・曲を聞き、歌えるところを歌う。	・一度曲を流し、内容について質問する。 ・PD の p.24 の「教科」を見せてもよい。 ・曲を再度流し、歌えるところを歌うように励ます。	指導者用デジタルブック	
【Word Link】 PD の p.5 天気 , p.15 曜日 ・「曜日」の単語を復唱する。	・音声を使って、「天気」「曜日」の単語を復唱させる。	PD 指導者用デジタルブック		

	<p>【Let's try ①】 ポインティングゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言われた PD の単語に触る。 ・指導者の指す絵カードの単語を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言った PD の単語に触るように伝える。 ・指導者が出した絵カードの単語を言うよう指示する。 	<p>PD 教師用絵カード,</p>
	<p>【Let's Chant】</p> <p>①What do you want to study?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを聞き, 言えるところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度チャンツを流し, 内容について質問する。 ・チャンツを再度流し, 言えるところを言うように励ます。 	<p>指導者用デジタルブック</p>
	<p>【Starting Out】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.1～5 までの音声を聞いて, 本体の A～E の□に順番に番号を記入する。 ・音声や映像から分かったこと, 気付いたことを WS の 1 に記入する。 ・聞き取れたこと, 気付いたことなどを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの絵の場面を確認する。 ・No.1～5 までの音声を聞いて, A～E の□に聞こえた順に番号を記入するよう伝える。 ・答え合わせをする。 ・WS を配り, 音声や映像を再度流し, 分かったことや気付いたことを WS の 1 に記入するよう伝える。必要に応じて, 複数回聞かせてもよい。 ・聞き取れたこと, 気付いたことなどを発表させる。 ・No.2(C)の音声や映像をもう一度視聴させ, 表現を確認する。 <p>【評価】 ○<input checked="" type="checkbox"/> (学びたい教科やなりたい職業についてのやり取りを主体的に聞き取り, 理解しようとしている)</p>	<p>指導者用デジタルブック</p> <p>WS</p>
<p>文字 指導 5分</p>	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形の似ている大文字を, 名前を言いながら書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・p.90 の形の似ている大文字を, その違いに注意しつつ, 名前を言いながら書くよう伝える。 <p>【評価】 *<input checked="" type="checkbox"/> (形の似ている大文字を識別し, 書くことができる)</p>	<p>指導者用デジタルブック, 巻末文字カード, 指導者用絵カード</p>
<p>まとめ 3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り, 言語に関すること等で気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り, 児童のよかったところをほめる。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・挨拶をする。 	

Unit 3 What do you want to study? (pp.26-33)

指導計画 2 / 8 時間 (pp.26-28)

本時目標：(仮) 時間割について聞き取り，学びたい教科について友達と尋ね合うことができるようにする。

主な言語材料：What do you want to be? I want to be a baker. など

準備：単元計画表，指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)，ワークシート (WS)，指導者用絵カード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> その日の時間割の話から，好きな教科・学習の話へ 	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い，本單元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。 	
展開 32分	<p>【めあての確認】</p> <p>(仮) 時間割について聞き取り，学びたい教科について友達と尋ね合おう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Word Link】 PD の p.4 気分， p.24 教科</p> <ul style="list-style-type: none"> 「気分」「教科」の単語を復唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声を使って，「気分」「教科」の単語を復唱するよう伝える。 	指導者用デジタルブック
	<p>【Let's try ①】 ポインティングゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 言われた PD の単語に触る。 指導者の指す絵カードの単語を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者が言った PD の単語に触るよう伝える。 指導者が出した絵カードの単語を言うよう指示する。 	PD 教師用絵カード，
	<p>【Let's Chant】</p> <p>②What do you want to be?</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き，言えるところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一度チャンツを流し，内容について質問する。 チャンツを再度流し，言えるところを言うように励ます。 	指導者用デジタルブック
<p>【Starting Out】</p> <ul style="list-style-type: none"> WS の 1 を見ながら，No.1～5 の音声や映像を視聴する。 No.2 (C) の音声や映像を視聴し，WS の 2 に答えを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> WS を配り，WS の 1 を確認した上で，No.1～5 の音声や映像を視聴するよう指示する。 No.2(C) の音声や映像を視聴させ，WS の 2 に答えを記入するよう伝える。必 	指導者用デジタルブック WS	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答え合わせをする。 ・ No.2 (C) の音声や映像をもう一度視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> 要であれば複数回視聴させる。 ・ 答え合わせをする。 ・ No.2(C)の音声や映像をもう一度視聴させ、表現を確認する。 	
	<p>【Let's Watch and Think】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声や映像を視聴し、答えを線でつなぐ。 ・ 答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙面の内容を確認する。 ・ PD の「月」の単語 (p.14 - 15) を確認する。 ・ 音声や映像を視聴させ、学びたい教科となりたい職業を線で結ぶよう伝える。 ・ 答え合わせをする際に、映像や音声から分かったことを尋ねる。また、ニュージーランドやマレーシアについて知っていることを尋ねる。 <p>【評価】 ○<input checked="" type="checkbox"/>知 (学びたい教科やなりたい職業についてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる)</p>	<p>PD</p> <p>指導者用デジタルブック</p>
	<p>【Let's Listen ①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声を聞いて、どの曜日の時間割かを考え、番号を記入する。 ・ 答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間割を見て、曜日や教科の言い方を確認する。 ・ 音声を流して、聞こえた順に曜日の上に番号を書くよう指示する。 ・ 答え合わせをする。 	<p>指導者用デジタルブック</p>
	<p>【Let's try ②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びたい教科についてペアでたずね合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ AET (または児童) とデモンストレーションを行う。 ・ 学びたい教科についてペアで尋ね合うよう指示する。 ・ 学びたい教科について、何人かに尋ねる。 <p>【評価】 ○<input checked="" type="checkbox"/>思 (学びたい教科やなりたい職業について学習した語句や表現から、言いたいことを選択したり付け加えたりして、やり取りをしている)</p>	
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 形の似ている小文字を、名前を言いながら書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・ p.90 の形の似ている小文字を、その違いに注意しつつ、名前を言いながら書くよう伝える。 <p>【評価】 *<input checked="" type="checkbox"/>知 (形の似ている小文字を識別し、書くことができる)</p>	<p>指導者用デジタルブック</p>
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時をふり返り、言語に関すること等で気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 	

		<ul style="list-style-type: none">・児童が発表した気付きに価値付けする。・挨拶をする。	
--	--	---	--

Unit 3 What do you want to study? (pp.26-33)

指導計画 3 / 8 時間 (pp.29)

本時目標：(仮) になりたい職業について聞き取り，友達と尋ね合うことができるようにする。

主な言語材料：What do you want to be? I want to be ～. など

準備：単元計画表，指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー(PD)，ふり返しシート

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> その日の時間割の話から，好きな教科・学習の話へ 	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い，本單元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。 	
展開 32分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) になりたい職業について聞き取り，友達とたずね合おう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Word Link】 PD の p.30 職業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「職業」の単語を復唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声を使って，「職業」の単語を復唱するよう伝える。 PD の中で「自分がやりたい職業は何か？」という意識付けを行った上で，音声を流す。 	指導者用デジタルブック PD
	<p>【Let's Chant】</p> <p>①What do you want to study? ②What do you want to be?</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き，言う。 	<ul style="list-style-type: none"> チャンツを流し，一緒に言う。 	指導者用デジタルブック
	<p>【Let's Listen ②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞き，答えを線で結ぶ。 答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙面の登場人物，教科，職業の言い方を確認する。 音声を流して，線で結ぶよう指示する。 答え合わせをする。 <p>【評価】 ◎知 (学びたい教科ややりたい職業についてのやり取りで使用される語句や表現が身につけている)</p>	指導者用デジタルブック
<p>【Let's try ③】</p> <ul style="list-style-type: none"> になりたい職業についてペアで尋ね合 	<ul style="list-style-type: none"> AET (または児童) とデモンストレーションを行う。 	WS	

	う。	<ul style="list-style-type: none"> ・PDのp.30などを見せながら，児童になりたい職業を考えるよう伝える。 ・ペアでたずね合わせる。 ・困り感のある児童に対し，個別に支援する。 <p>【評価】思（なりたい職業について，学習した語句や表現から言いたいことを選択したり，付け加えたりしながらやり取りしている）</p>	
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形の似ている大文字と小文字を，名前を言いながら書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・p.90の形の似ている大文字と小文字を，その違いに注意しつつ，名前を言いながら書くよう指示する。 <p>【評価】*知（形の似ている大文字と小文字を識別し，書くことができる）</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り，コミュニケーションの図り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・挨拶をする。 	

Unit 3 What do you want to study? (pp.26-33)

指導計画 4 / 8 時間 (pp.30 - 31)

本時目標：(仮) 夢に近づく時間割を作成し、なりたい職業について紹介し合うことができるようにする。

主な言語材料：What do you want to study? I want to study ～. What do you want to be (do)?

I want to be ～.など

準備：指導者用デジタルブック、 単元計画表、ピクチャーディクショナリー (PD)、
巻末コミュニケーションカード、

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな教科の話から、その理由について 好きな教科の話から、苦手な教科の話について 	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 	
展開 32分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) 夢に近づく時間割を作成し、なりたい職業について紹介し合おう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Let's sing】</p> <p>What do you have on Mondays?</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌えるところを歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に歌う。 	指導者用デジタルブック
	<p>【Step 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル映像を視聴する。 なりたい職業をもとに改めて学びたい教科について考え、たずね合う。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル映像を見せて、活動内容を確認する。 AET (または児童) とデモンストレーションを行う。 なりたい職業をもとに改めて学びたい教科について考え、ペアで尋ね合うよう指示する。 	指導者用デジタルブック PD
<p>【Step 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> なりたい職業を決めて、それについてペアでたずね合う。 「夢に近づく時間割」を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> AET (または児童) とデモンストレーションを行う。 巻末コミュニケーションカードを切り取り、「夢に近づく時間割」を作るよう指示する。 	巻末コミュニケーションカード	

		<ul style="list-style-type: none"> ・困り感のある児童に対し、個別に支援する。 	
	<p>【Step 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル映像を視聴する。 ・前時に作成した「夢に近づく時間割」をもとになりたい職業を紹介する。 ・使用したカードを p.35 に貼る。 <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hi, everyone.</p> <p>This is my card.</p> <p>I have Japanese, P.E., music, English, math and home economics.</p> <p>I want to study music.</p> <p>I want to be a singer.</p> <p>Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AET（または、児童）とデモンストレーションを行う。 ・児童の実態をふまえて設定した、コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。 ・4～5人のグループになり、学びたい教科と「夢に近づく時間割」と、なりたい職業を紹介し合う。 ・使用したカードを p.35 に貼ることを伝える。 <p>【評価】◎思（夢に近づく時間割を紹介する活動を通じて、学びたい教科となりたい職業について、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている）</p> <p>【評価】○主（夢に近づく時間割を紹介する活動を通じて、学びたい教科となりたい職業について、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている）</p>	
	<p>【中間のふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。 	
	<p>【Step 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし、同様に活動を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし、活動を続けるよう指示する。 	
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円を描くような動きが中心の小文字の名前を言いながら書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・円を描くような動きが中心の小文字の名前を言いながら書くよう指示する。 <p>【評価】*知（円を描くような書き方の小文字を書くことができる）</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、コミュニケーションの図り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・挨拶をする。 	

Unit 3 What do you want to study? (pp.26-33)

指導計画 5 / 8 時間 (pp.32-33)

本時目標：(仮)世界の授業について考え、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：What do you want to study? I want to study ～. など

準備：指導者用デジタルブック， 教師用絵カード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意なことや好きなことの話から、好きな教科に </div>	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 	
展開 35分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>(仮)世界の授業について考え、世界と日本についての理解を深めよう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【ことば探検】</p> <ul style="list-style-type: none"> 左右それぞれの職業を表す単語にある共通点を探し、発表する。 同じような事例があるか、PD から探してメモ欄に記入し、発表する。 学習した単語を復唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 左右それぞれの職業を表す単語にある共通点を探し、発表するよう伝える。 同じような事例があるか PD の p.30 「職業」の中から探すよう指示し、右のメモ欄に記入するよう伝える。 記入したことを尋ねる。 学習した単語を復唱するよう指示する。 	
	<p>【日本のすてき】 Soylu Ali (ソイル・アリ) さん</p> <ul style="list-style-type: none"> Soylu さんについての映像や音声を視聴し、おおよその内容を理解する。 空欄に答えを記入する。 答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> まず全体を1度流し、その映像や音声を通じて、Soylu さんがどんな仕事をしているか聞き取り、答えを空欄に日本語で記入するよう伝える。 Soylu さんの仕事が農家(farmer)であることを確認する。 もう一度視聴させ、分かったことを記入するよう指示する。児童の実態に応じて、複数回視聴させてもよい。 <p>【評価】 ○<input checked="" type="checkbox"/> (世界と日本についての理解を深めようとしている)</p>	指導者用デジタルブック

	<p>【Do you know?】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面のドラマ，ヨガ，環境，手話，日本語の授業から，日本の授業との違いや，自分たちの授業で取り上げてほしいものなどについて考え，発表する。 ・クイズの答えを予想し，番号に○をつける。 ・答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面のドラマ，ヨガ，環境，手話，日本語の授業から，日本の授業との違いや，自分たちの授業で取り上げてほしいものなどについて考え，発表するよう伝える。 ・クイズの答えを予想し，番号に○をつけるよう伝える。 ・答え合わせをする。 ・協力が得られれば，AET や IUI の国の行事や祝日についての資料も準備し，紹介する。 <p>【評価】 ○<input checked="" type="checkbox"/> (世界の授業について主体的に知ろうとし，世界と日本についての理解を深めようとしている)</p>	
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返しカードに記入する。 ・文化や風習に関する気付きや，言語に関する気付きを発表する。 ・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発表や気付きをまとめたり，日本の文化との同異を整理したりする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・ふり返しにおいて，もっと深く知りたいことが出た場合は，それを拾い上げ，次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。 ・挨拶をする。 	<p>ふり返しカード</p>

Unit 3 What do you want to study? (pp.26-33)

指導計画 追加1時間 [横浜の時間] (pp.32-33)

本時目標：(仮)世界の授業について調べることを通して、日本の実態と比較しながら、世界と日本についての理解を深める。

準備物：単元計画表，世界地図，図書・資料，PCもしくはタブレット，オリジナルワークシート (WS) など

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 3分	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。	
展開 37分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> (仮)世界の授業について調べることを通して、日本の実態と比較しながら、世界と日本についての理解を深めよう。 </div> <p>・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</p>	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	<p>【調べ学習】</p> <p>・世界の授業について調べる。</p> <p>・調べたことをまとめ手段を選び，資料を作成する。</p> <p>例；WS，ポスター，新聞，タブレット (プレゼンテーションソフト使用) 等</p>	<p>・世界の授業に関する他国の文化の学習を通して，日本の授業と比較することで，アイデンティティの育成や高まりにつなげる。</p> <p>・興味をもった文化・風習等と出会う機会をつくる。</p> <p>・学校図書館やPCルーム等，調べ学習に適した学習環境を整える。</p> <p>・困り感のある児童に対し，個別に支援する。</p> <p>【評価】○<input checked="" type="checkbox"/>主 (活動を通じて，自分の関心ごとの探求に向かって主体的に取り組んでいる)</p>	<p>世界地図 図書・資料 PC もしくは タブレット WS</p>
まとめ 5分	<p>・ふり返りカードに記入する。</p> <p>・文化や風習に関する気付きや，言語に関する気付きを発表する。</p>	<p>・児童の発表や気付きをまとめたり，日本の文化との同異を整理したりする。</p> <p>・児童が発表した気付きに価値付けする。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>ふり返りカード</p>

Unit 3 What do you want to study? (pp.26-33)

指導計画 6 / 8 時間 (pp.32-33)

本時目標： (仮) 世界の授業について調べたことの発表を通して、日本の実態と比較しながら、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料： This is ～. ～is in…。 Do you know～? I like ～. など

準備物： 単元計画表, 世界地図, 図書・資料, PC もしくはタブレット, オリジナルワークシート (WS) など

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 3分	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。	
展開 32分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> (仮) 世界の授業について調べたことの発表を通して、日本の実態と比較しながら、世界と日本についての理解を深めよう。 </div> <p>・本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</p>	<p>・本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</p>	児童が発表する際に使用する資料等
	<p>【Challenge をアレンジした活動】</p> <p>・世界で実施されている授業について発表する。</p> <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hello. Do you know drama? This is drama class in U.K. It's fantastic! Thank you.</p> <p>・発表を聞きながら、他国の文化等について日本との比較を通して、気付いたことや分かったことを記入する。</p> <p>・友達の発表を聞きながら、日本の実態と比較することを通して、共通点や相違点を見出す。</p>	<p>・授業に関する他国の文化の学習を通して、日本と比較することで、アイデンティティの育成や高まりにつなげる。</p> <p>・興味をもった文化・風習等と出会う機会をつくる。</p> <p>・困り感のある児童に対し、個別に支援する。</p> <p>・児童がまとめた資料は、実態に応じて廊下や学校図書館等に掲示してもよい。</p> <p>【評価】</p> <p>○主 (活動を通じて、自分の関心ごとの探求に向かって主体的に聞いたり、質問したりしている)</p>	
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】</p> <p>・上下の動きが中心の小文字を、名前を言いながら書く。</p>	<p>・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。</p> <p>・上下の動きが中心の小文字を、名前を言いながら書くよう指示する。</p> <p>【評価】 *知 (上下の動きが中心の小文字を書くことができる)</p>	指導者用デジタルブック

<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードに記入する。 ・文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。 ・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発表や気付きをまとめたり、日本の文化との同異を整理したりする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・ふり返りにおいて、もっと深く知りたいことが出た場合は、それを拾い上げ、次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。 ・挨拶をする。 	<p>ふり返りカード</p>
-------------------	---	---	----------------

Unit 3 What do you want to study? (pp.26-33)

指導計画 7/8時間 (pp.30-31)

本時目標：(仮) 夢に近づくために学びたい教科について紹介し合うことができるようにする。

主な言語材料： I like ～. My birthday is ～. I want ～ for my birthday present. I want to study ～.
I want to be ～. など

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、巻末コミュニケーションカード、
ふり返しカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <p>本単元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意なことや好きなことの話から、好きな教科について 得意なことや好きなことの話から、将来の夢について 	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本単元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 	
展開 30分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) 夢に近づくために学びたい教科について紹介し合おう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習したことを生かして、WS に記入しながら、クイズを作成する。 <p>[会話モデル例]</p> <p>Hello.</p> <p>My name is ○○. (自分で付けたニックネーム)</p> <p>I like ～.</p> <p>My birthday is ～.</p> <p>I want ～ for my birthday present.</p> <p>I want to study ～.</p> <p>I want to be ～.</p> <p>Who am I?</p> <ul style="list-style-type: none"> 出来上がったクイズをグループでシャッフルして配り、ミニクイズ大会を行う 	<ul style="list-style-type: none"> AET (または、児童) とデモンストラーションを行う。 児童が活動の見通しをもち、クイズを作成できるようにする。 本活動で中心となる表現を確認する。 出来上がったクイズをグループでシャッフルして配り、ミニクイズ大会を行う。 <p>【評価】</p> <p>○主 (友達に関するクイズを出し合う活動を通じて、友達の夢や受けたい授業について、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)</p>	WS

	う。		
	<p>【中間のふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。 	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし、同様に活動を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし、活動を続けるよう指示する。 	WS
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下へ向かう動きが中心の小文字と、直線の動きが中心の小文字を、名前を言いながら書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・下へ向かう動きが中心の小文字と、直線の動きが中心の小文字を、名前を言いながら書くよう指示する。 <p>【評価】*<input type="checkbox"/> (下へ向かう動きが中心の小文字と、直線の動きが中心の小文字を書くことができる)</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードに記入する。 ・コミュニケーションの図り方に関する気づきや、言語に関することで気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 ・児童が発表した気づきに価値付けする。 ・挨拶をする。 	ふり返りカード

Unit 3 What do you want to study? (pp.26-33)

指導計画 8 / 8時間 (pp.30-31)

本時目標：(仮) 夢に近づくために学びたい教科について紹介し合うことができるようにする。

主な言語材料：I like ～. My birthday is ～. I want ～ for my birthday present. I want to study ～.
I want to be ～. など

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、オリジナルワークシート (WS)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <p>本单元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意なことや好きなことの話から、好きな教科について 得意なことや好きなことの話から、将来の夢について 	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本单元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 	
展開 35分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) 夢に近づくために学びたい教科について紹介し合おう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ランダムに引いた WS に書かれているクイズを読み、出題する。 <p>[会話モデル例]</p> <p>Hello.</p> <p>My name is ○○. (書き手が自身で付けたニックネーム)</p> <p>I like ～.</p> <p>My birthday is ～.</p> <p>I want ～ for my birthday present.</p> <p>I want to study ～.</p> <p>I want to be ～.</p> <p>Who am I?</p>	<ul style="list-style-type: none"> AET (または、児童と) デモンストレーションを行う。 児童の実態をふまえて設定した、育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。 困り感のある児童に対し、個別に支援する。 <p>【評価】◎罎 (友達に関するクイズを出し合う活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている)</p> <p>【評価】◎主 (友達に関するクイズを出し合う活動を通じて、友達の夢や受けたい授業について、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)</p>	WS

	<p>【中間のふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや，ふり返る際の視点に沿って，活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや，ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返し，めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ，ほめる。 	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし，同様に活動を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし，活動を続けるよう指示する。 	WS
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返しカードに記入する。 ・コミュニケーションの図り方に関する気付きや，言語に関する事で気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返し，児童のよかったところをほめる。 ・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・挨拶をする。 	ふり返しカード